

右の写真のキャラクターグッズを見かけられたことがありますか？  
これらはすべて障害福祉施設のワーキングヒルズ（大村市荒瀬町）様が製作されたものです。

ワーキングヒルズ様は、椎茸・米・野菜・果樹栽培、縫製品・木工作品・ノベルティグッズの製作、印刷、Tシャツプリント、ペットボトル粉碎、缶プレスなど、多種多様な事業を展開され、さらに、企業からの請負業務も積極的に取り組まれています。

今回は、新たな取組みとしての清掃業務を紹介します。

管理者の矢野様と発注した大村市競艇企業局開催運営課 係長の荒木様と担当の松下様にお話を伺いました。



## ～ 大村市競艇企業局が障害福祉サービス事業所に清掃業務を発注 ～

清掃業務は新しい取組みとのことですが？  
矢野様「昨年12月に競艇企業局様より発注の打診がありました時は、スタッフ、利用者とも経験がありませんでした。そこで、同業者である三彩の里（大村市）様とネットワークセンターひかり（島原市）様からノウハウを学び、業務に必要な用具等も教えていただきました。今年4月からこの業務を請負っています。」

清掃の頻度や清掃時間等は？

矢野様「月4回、毎週火曜日の13：30から15：00までの時間帯にスタッフ2名と利用者5名で行っています。」

貴事業所は、業務の種類が多いのですが、利用者の方は一業務に固定？それとも、複数の業務を行うことが可能？

矢野様「本人の適性にもよりますが、通常、各人複数の業務をやっていただいています。また、大型発注があった場合は、大勢で一業務に取り組めます。ただし、ペットボトル粉碎などのリサイクル事業に従事できるのは、たいへん身体に負担がかかる作業なので、特別に適正のある方に限定しています。」

発注のきっかけは？

荒木様、松下様「福祉施設への発注の促進が公営企業における社会貢献の一つと考えたためです。」

発注した清掃場所は？

荒木様、松下様「計算センター棟の1, 2階部分の一部です。これまでは、職員が行っていましたが、大きな窓などの特殊な構造物やボート観戦のお客様が使われる場所は、専門業者に発注していますが、福祉施設へ発注できる場所については、今後とも検討していきます。」



ワーキングヒルズ利用者の皆様が作業をされている様子です。

人目につきやすいところも目立たないところも、隅から隅まで丹念に清掃されていました。

廊下もトイレもピカピカです。